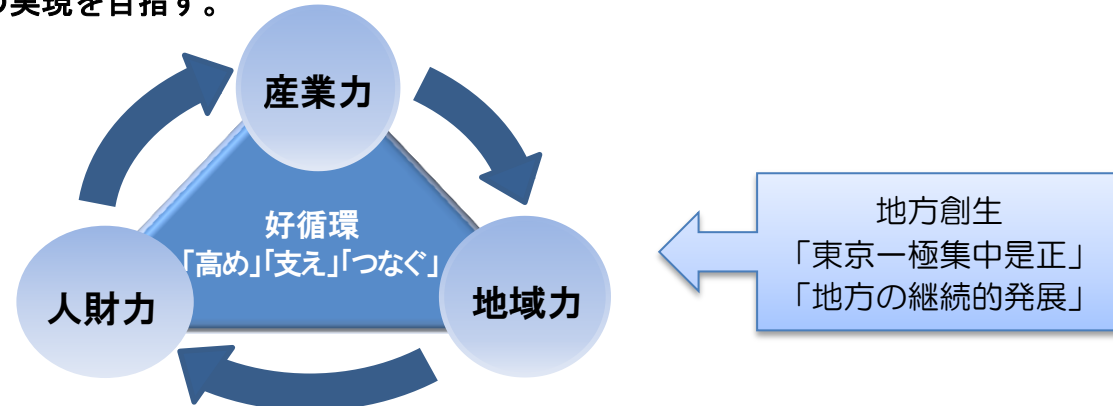


産業力・人財力・地域力を「高め」「支え」「つなぐ」
活力と持続力ある日本一の産業首都あいちづくり

- (1) 次世代産業を中心に、強みであるモノづくりの競争力をさらに磨き上げるとともに、モノづくりに関連したサービス産業等を中心に第3次産業の振興を図ることで、「産業力」をより強化し、内外から人財・企業・資源を集める。
- (2) 地域を支える中小・小規模企業を核として、商店街、地場産業といった地域密着産業の振興を図ることで、「地域力」をより強化し、地域創生に資する。
- (3) 次世代産業を支える人材育成や多様な人材の活躍できる環境の整備を通じて、「人財力」を強化し、更なる産業の振興を目指す。

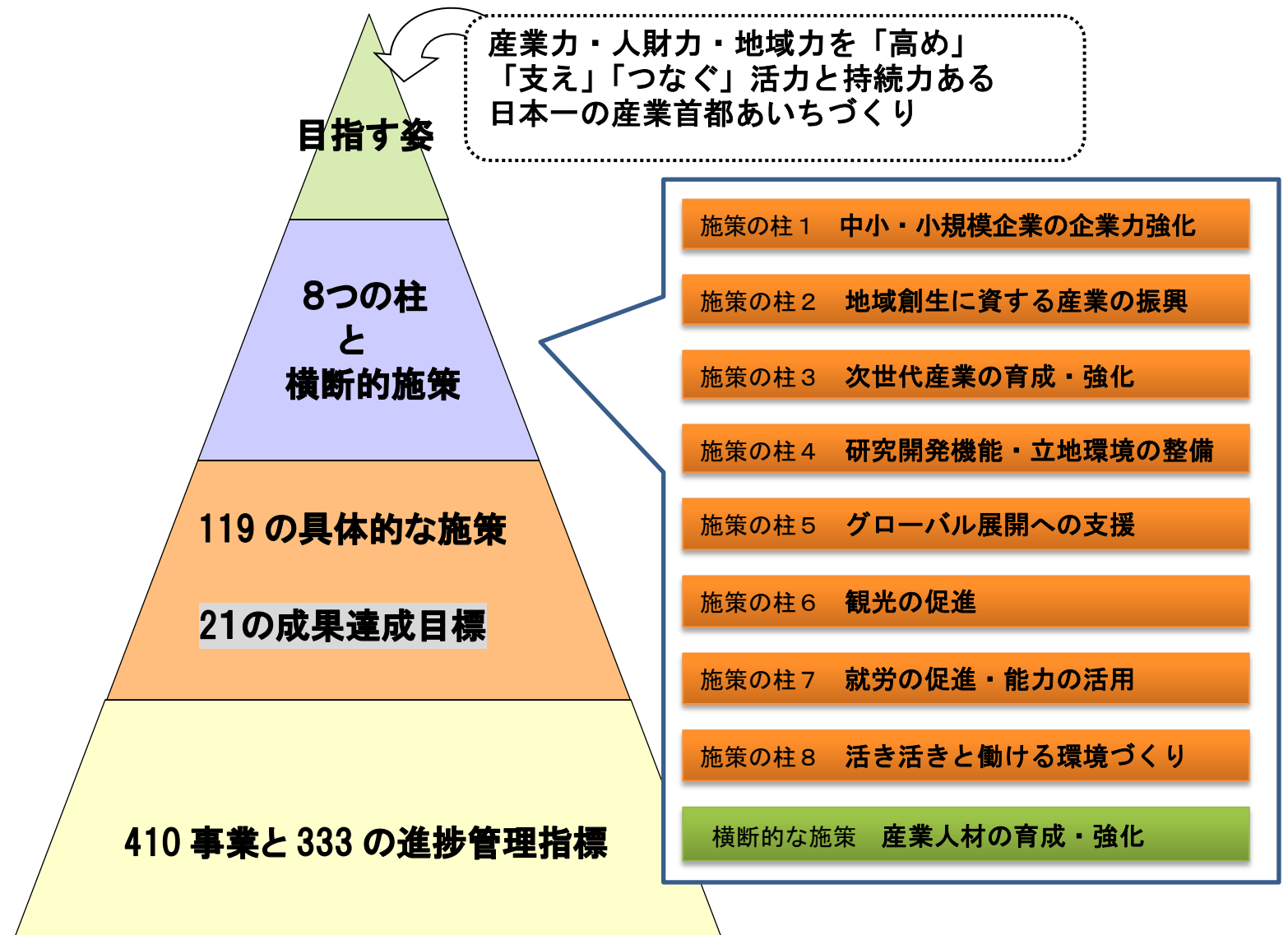
産業力・人財力・地域力の「好循環」により、日本一ビジネスがしやすく、働きやすく、暮らしやすい環境をつくり、活力にあふれ、サステナブル（持続可能）な地域の実現を目指す。



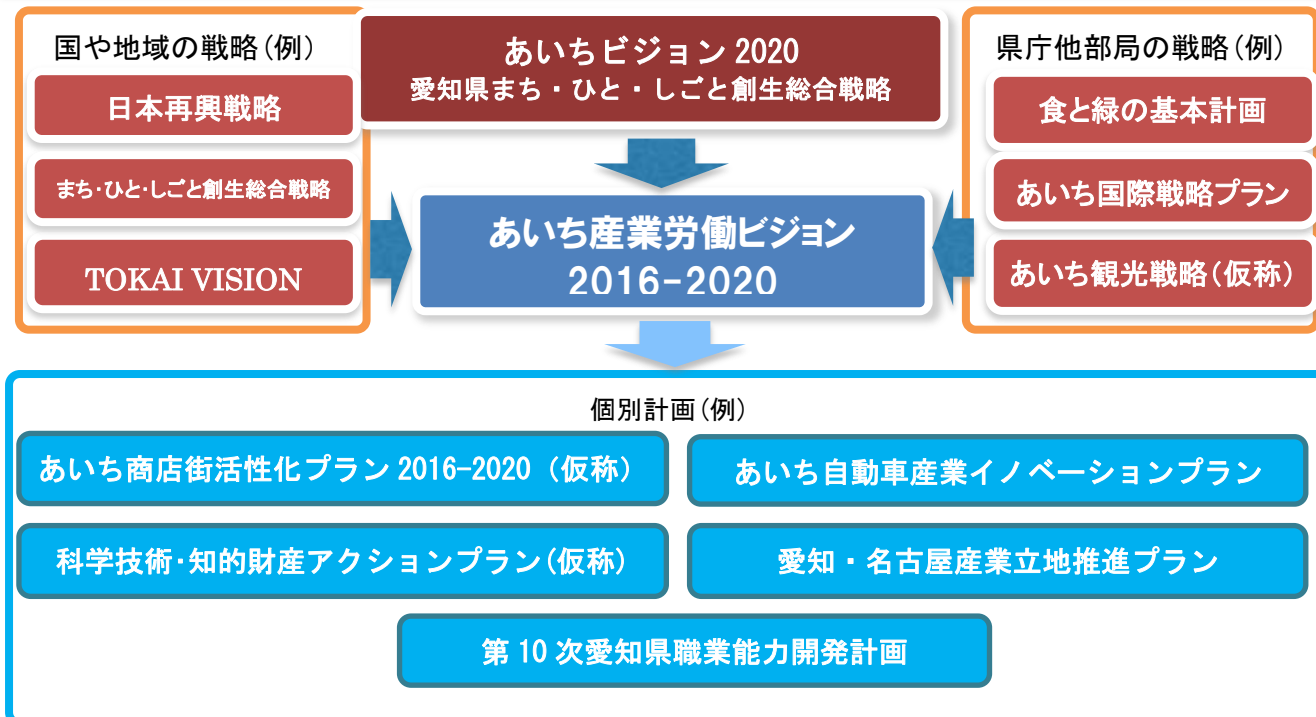
あいち産業労働ビジョン2016-2020の特徴

- 現計画の評価を踏まえて施策の見直しや強化を図り、現計画との連続性を重視
- 愛知県中小企業振興基本条例制定後初めてのビジョンとして、現場の声を重視した計画策定作業を実施
- 小規模企業を明確に位置づけるなど、中小・小規模企業施策を充実
- 産業面からの女性の活躍促進を位置づけ
- モノづくりの高度化に加え、サービス産業支援を強化、総合的な施策を検討
- 次世代産業の更なる振興とイノベーションを創出する基盤づくり
- 横断的な施策として、産業人材育成・強化を位置づけ、計画的かつ効果的な人材育成を推進
- 個別の事業に対する進捗管理指標と施策の柱ごとの成果達成目標設置。事業評価を強化して、事業の効率的進行を実現

あいち産業労働ビジョン2016-2020の体系



あいち産業労働ビジョン2016-2020の位置づけ



あいち産業労働ビジョン2016-2020の概要(施策の概要案)

施策の柱 1 中小企業・小規模企業の企業力強化

◆成果達成目標

開業率：5.24% → 6% (2020年度までに)

中小企業の製造品出荷額等シェア：8.59% → 10% (2020年までに)

- 中小・小規模企業の新事業展開、販路開拓への支援、ICTによる販売促進への支援
- クラウドファンディングや、インキュベート施設による創業、ベンチャービジネスへの支援
- 地域金融機関との連携、中小企業支援施策に関して様々な主体が意見交換できるプラットフォームづくり

施策の柱 2 地域創生に資する産業の振興

◆成果達成目標

県内総生産の全国シェア：6.9% → 7.5%程度 (2020年までに)

- 産官学連携により、商店街の課題解決に向けた調査研究、ハンズオン支援
- サービス産業の課題の見える化と解決策の立案を推進する庁内WGの設置
- デザインや異業種との連携による地場産業の付加価値化への支援
- 「あいち・ウーマノミクス研究会」での検討を受けた女性の活躍と新たな産業の創出

施策の柱 3 次世代産業の育成・強化

◆成果達成目標

製造品出荷額等の全国シェア：14.4% → 14.5% (2020年までに)

中部地域の航空宇宙産業の生産高：0.87兆円 → 1.18兆円 (2020年までに)

次世代自動車の県内新車登録販売の割合：43% → 60% (2020年度までに)

ロボット製造業の製造品出荷額等の国内シェア：21.9% → 30% (2020年までに)

- 航空機の増産、国際競争力強化への人材育成・確保支援、中小企業の航空機製造の認証取得支援
- 自動走行、高度安全技術、次世代自動車の各部材の開発の支援
- 次世代自動車の普及・啓発、水素ステーション、充電インフラの整備の促進
- 「あいちサービスロボット実用化支援センター」、「近未来実証特区」の活用によるロボット産業の振興

施策の柱 4 研究開発機能・立地環境の整備

◆成果達成目標

学術・研究開発機関事業所数の全国シェア：4.9% → 5.5%程度 (2020年までに)

次世代成長産業等の企業立地件数：6件 → 40件 (2020年度までに)

外国企業の誘致件数：7件 → 35件 (2020年度までに)

- 「知の拠点あいち」をはじめとした地域の研究開発機能の強化
- オープンイノベーションなど知財経営によるモノづくり力の強化
- 「産業空洞化対策減税基金」を活用した企業立地・再投資への支援
- ジェットロ、グレーター・ナゴヤ・イニシアチブ協議会等と連携した海外ミッションや企業招聘の実施

施策の柱 5 グローバル展開への支援

◆成果達成目標

輸出額の全国シェア：20.1% → 21%程度 (2020年までに)

- 「あいち国際ビジネス支援センター」による海外展開への総合的な支援
- インド「愛知デスク」、タイ、上海の「海外産業情報センター」、ベトナム、江蘇省の「サポートデスク」による海外展開支援
- 今後経済成長が期待されるアジアの国・地域との経済交流の推進

施策の柱 6 観光の促進

◆成果達成目標

来県者数：3,817万人 → 5,000万人(うち外国人：400万人) (2020年までに)

観光消費額：7,270億円 → 1兆円(うち外国人：2,500億円) (2020年までに)

- 訪日外国人誘致に向けたプロモーションと受入態勢の整備、昇龍道プロジェクトなどの広域連携
- 大規模展示場の設置検討およびMICE、各種スポーツ大会の誘致
- 武将観光、産業観光などのテーマ観光、「なごやめし」などを首都圏等に戦略的にPR

施策の柱 7 就労の促進・能力の活用

◆成果達成目標

労働人口の全国シェア：6.1% → 6.2% (2020年までに)

労働力率：62.7% → 62.0% (2020年)

高齢者の労働力率：23.8% → 24.8% 障害者の法定雇用率達成：1.74% → 2.0%

若者の完全失業者数：51,000人 → 50,000人以下 (いずれも2020年までに)

- 障害者雇用に関する「コンシェルジュ窓口」の設置検討
- 学生と中小企業のマッチング強化、「ヤング・ジョブ・あいち」による総合的な支援
- 「あいち子育て女性再就職サポートセンター」の運営などによる女性の再就職支援
- 高齢者向け就職支援セミナー、企業向け高齢者人材活用好事例紹介等による高齢者の就職支援

施策の柱 8 生き生きと働ける環境づくり

◆成果達成目標

年次有給休暇取得日数：8.2日 → 10日 (2020年までに)

女性(25~44歳)の労働力率：70.1% → 73.1% (2020年までに)

- 「県内一斉ノー残業デー」の実施、イクメン、イクボスの普及拡大などワークライフ・バランスの推進
- 仕事と介護を両立できる職場環境づくりの促進(好事例集の作成など)
- 非正規雇用労働者の処遇改善への取組支援
- 職場のメンタルヘルス対策ガイドブックの配布や、企業向け講師派遣などによる企業のメンタルヘルス対策支援

横断的な施策の柱 産業人材の育成・強化

◆成果達成目標

技能検定合格者数：7,800人 → 8,500人/年度

- 技能五輪全国大会の定期的開催、2020年代初頭の国際大会の誘致
- 「愛知県産業人材育成支援センター(仮称)」による技能取得支援のコーディネート機能の設置
- 職業訓練・研修、中小企業の魅力情報など人材育成の情報を一元化したポータルサイトの開設
- インターンシップの充実、職場体験・職場見学の促進
- 「県立愛知総合工科高等学校」の開校など高度なモノづくりに向けた人材育成支援